

## 第1章 福知山市立図書館の整備に関する基本的な考え方

### 1-1 公共図書館は、何を担っているのか

人は、何かを判断する時に、できるだけ多くの情報を集め、比較検討し、そして自分にとって最適なことを選択し、行動に移す。これを一瞬に行う場合でも、頭のなかに蓄えた情報で判断をしている。また、人の人格や意思を形成しているのも長い間に蓄積してきた多くの情報によるところが大きい。

図書館は、人が判断し、行動に移すための情報を提供し得る有効な基盤施設の一つである。過去から現在にいたるまでの先人が残してくれた知識や技術を情報という形で収集し、整理し、保存し、そして提供する機関であり、それを公的に保障しているのが公共図書館である。

より大きな視点に立てば、民主主義社会が、円滑に機能するためには、私たち一人ひとりが「自ら考え、自分の意見を持ち、自由に発言することができ、かつ自己責任を取る」ことが必要である。これからの社会を考えると、自立した個人の自己決定、自己責任が問われることは確実であり、そのためには情報収集能力が重要になる。同時に情報提供を保障する機関もまた必要であり、公共図書館は、その役割を担っている。

### 1-2 公共図書館運営に、いま何が求められているのか

“市民の図書館”を目指して公共図書館が大きく変わり始めてから、40年近くになるろうとしている。この間、図書館の基本的な機能である資料提供を積極的に展開するなかで、公共図書館は大きく発展してきた。

しかし、公共図書館を取り巻く状況は、楽観的ではない。行財政改革の必要性やIT（情報通信技術）の進展によって、公共図書館の新たな存在意義が問われ始めている。

行財政改革の中では、より効率的で最大の効果をあげることが問われており、図書館も例外ではない。

また、IT化の進展によって、パソコンを使って手軽に情報を入手できるようになってきているが、大量の情報が行き交うなかで、個々人にとって真に必要な情報とは何かを判断する能力や機能の必要性がますます高まっている。

その意味において、公共図書館にいま求められていることは、“量”よりも“質”を重視した図書館運営ではないだろうか。つまり、“量”の部分の省力化を図りながら、“質”を高めることに力点を置いた図書館運営が求められている。

### 1-3 図書館の基本的な機能を活かす方法論の再確認

図書館の基本的な機能は、情報（資料）提供である。これを効果的に実施するための方法が“貸出”と“レファレンス”（参考相談業務）である。

この“貸出”と“レファレンス”を図書館運営の両輪ととらえ、バランスのとれたサービス展開が必要であり、このバランスによって図書館の“質”が保たれることになる。

この間、図書館の運営は“貸出”に力点がおかれ、市民からの資料相談 広い意味でのレファレンス・サービスを行なっていることをあまりアピールしてこなかった。誤解を避けるために補足するが、現在の公共図書館がまったくレファレンス・サービスを行なっていないという意味ではない。しかし、そのような機能が図書館にあるという認識が、市民に浸透していないのが現状である。

今後の図書館を考える場合、図書館の専門的職員をうまく活用したレファレンス・サービスに力点を置き、それを切り口とした質の高いサービスを提供することが必要である。これによって、現状の貸出とのバランスが保たれ、より一層、市民サービスの向上につながることになる。

### 1-4 福知山市の図書館が行うべきサービスのポイント

#### (1) 市民の情報要求に対する人的支援

図書館サービスの質を高め、市民の情報要求に充分に応えるためには、図書館職員による人的な支援が必要である。情報があるだけでは、十分なサービスはできない。人と情報を結び付けるためには、やはり“人”の存在が重要な要素となる。

福知山市のこれからの図書館サービスを考えるときに、この人的支援を考えたサービス計画が重要な視点になる。市民に対する情報提供を積極的に展開するためには、資料の貸出とともに図書館職員による的確な資料（情報）へのアドバイスが必要であり、図書館施設の充実と同時に、専門的職員（司書）の活用によってサービスの質を確保する必要がある。

#### (2) 子どもたちの想像力を高め、育むための人的支援

メディアの多様化によって子どもたちを取り巻く環境も変化してきている。しかし、“本を読む”ということが子どもたちに与える影響は、今もこれからも変わることはない。“本を読む”ことは想像力を高め、知識ばかりでなく感性をも豊かにする。図書館の存在は、メディアの多様化などに関係なく、子どもたちの想像力を育成し、かつ私たちの文化を継承するための基本的な施設である。そのための環境を整えることは我々の最大の課題である。

本を読むことの意義と、次代を担う子どもたちの育成を図書館運営の大きな柱とする必要がある。

(3) 誰でも使える施設としての図書館

図書館は、人を選ばない。0歳から100歳以上の人でも自由に活用できる施設である。親子で利用したり、多くの時間を図書館で過ごしたりする滞在型の利用も増えている。また、定年後、図書館を拠点としてさまざまな活動をしている高齢者の姿も増えており、高齢者の生きがいや創造意欲を駆り立てる重要な施設としても機能している。その意味において集客能力が高く、かつ市民にとって必要度の高い公共施設である。また、何らかの理由によって図書館の利用に支障のある人々に対して、そのサービスの充実を図ることは言うまでもない。

(4) 活字情報とデジタル情報を有効に活用する“ハイブリット図書館”

IT化の進展によって図書館の役割が問われてくると言っても過言ではない。しかし、“本”という活字媒体がすぐになくなることは決してない。今、図書館が考えることは、デジタル情報をうまく活用しながら活字情報に結び付けていくこと、あるいは活字情報では入手困難な情報をデジタル情報で探し出し、提供していくことである。二者択一ではない。これができるのは図書館だけであり、このようなハイブリットな活用を積極的に進めていくことが必要である。

また、福知山市では地域情報化計画を進めており、超高速光ファイバーネットワークを通して、さまざまな情報が提供できるようになる。図書館もその一翼を担う施設として機能する意義は大きい。

(5) 行政を支援し、仕事に役立つ図書館

行政執行上必要な情報の提供や事業を始めたいという人（起業家）、あるいは働いている人の仕事に役立つ情報を提供していくことも図書館の重要なサービスである。今までは、あまり意識的に行ってこなかったサービスであるが、今後は図書館が積極的に関わっていく必要がある。行政への情報提供は結果として市民サービスの向上につながり、仕事に役立つ図書館は、地域を活性化し、かつ経済効果を高めることにつながる。

(6) 地域の史料センターとしての機能

福知山市には、豊かな自然と多くの文化財が存在し、そしてその歴史や風土を愛する多くの人々が暮らしている。人々の生活や活動の基盤は地域にあり、ふるさとの存在は、人々のアイデンティティ形成に欠くことができないものである。公共図書館は、地域に対する専門の史料センターであり、過去から現在、そして未来に向けての知識のタイムカプセルでもある。つまり、ふるさとを考え、先人の知的財産を受け継ぎ、今の時代を考え、そして将来に残す機能を図書館は果たしている。福知山市という地域に誇りを持ち、慈しむ人々を育むための施設として図書館を位置づけたい。

(7) 情報リテラシー（情報の読み書き能力）に対する支援

多種多様なメディアの存在、そしてIT化の進展によって多くの情報が市民の間を

飛び交っている。それら氾濫する情報の中から個々人にとって必要な情報を見つけ出し、有効な情報なのかどうかを判断する能力が、今、求められ始めている。これからの図書館は、情報を判断する能力や取捨選択する能力＝情報リテラシーを高めるための施設として機能することが必要である。例えば、市民向けの図書館資料の活用講座やインターネット情報の活用講座などを通してその能力の向上を図ることができる。図書館は、情報を扱う施設であり、活字資料ばかりでなくインターネット上の情報も常に活用している。つまり信頼できる情報をうまく活用する方法を熟知している職員がおり、その活用方法を市民に伝えることができる最適な施設となる必要がある。情報リテラシーに対する支援も図書館の大きな機能である。

(8) “場”としての機能

市民の経済活動や福祉の向上に行政が果たす役割は大きいですが、地域文化に果たす役割もまた同様である。図書館という“場”の存在は、福知山市の情報、文化のシンボルとなり得るものであり、知的空間という雰囲気醸し出す。施設そのものの存在が福知山市の文化のランドマークになると同時に、その中にいることで市民の創造力を高め、かつ知的な癒し空間ともなり得る。そのような“場”としての機能に注目した図書館づくりが必要である。

(9) 分館をつなぐネットワークの要としての中央館の整備充実

福知山市には、三つの分館が存在し、それらを取りまとめる役割を福知山市立図書館中央館が果たしている。しかし、市の規模から考えても手狭であり、中心館としての機能を十分に発揮できないのが現状である。市民にとって身近な存在である分館は、きめ細かなサービスが展開できるが、規模などの制約から多種多様な資料や情報を所蔵することができないという弱点をもつ。新図書館は、身近な図書館を使いながら多くの情報に接することができるよう分館の機能を支援する要の役割を果たすことが必要である。